

平成30年度モニタリング評価表

施設名 和光市勤労福祉センター

指定管理者 シンコースポーツ&サンワックス共同事業体

評価内容	検査項目	指定管理者評点	市評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1. 誰もが平等に利用できる仕組みを有しているか。	<u>4</u>	4
	2. 職員に対する平等利用やコンプライアンス等について教育研修等により十分周知されているか。	<u>3</u>	3
	3. 利用者の利便性向上のための新たな取組を実践・実行できる体制を有しているか。	<u>4</u>	4
	4. 接遇向上のための具体的な対策が講じられているか。	<u>4</u>	4
	5. 利用者還元、謝恩企画等を行っているか。	<u>4</u>	4
【工夫・改善点等】 ・アグリパーク利用喚起として農園利用者対象のアグリクーポン（割引利用）を実施している。 ・館内にて新鮮野菜の販売、授産施設等のパン販売を実施した。 ・傘の取り間違いや盗難防止として鍵付き傘立てを新に設置した。 ・サービスとして誕生日に来館した本人のみにアスレチック・風呂の無料利用券、10月31日（水）と2月14日（木）にお菓子やチョコレートのプレゼントを実施した。 ・季節に合わせた商品を販売するため、ウェア類の入れ替えを定期的実施した。また、オリンピック・パラリンピックのマスコットグッズも販売を開始した。			
②利用促進に向けた取組が行われているか。	1. 利用促進に向けた取組に努めているか。実現可能な利用促進策を有しているか。	<u>4</u>	4
	2. 利用者数及び施設稼働が拡大のため実現可能な対策を有しているか。	<u>4</u>	4
	3. 教室、イベント、自主事業が拡充のため実現可能な対策を有しているか。	<u>4</u>	3
	4. PR活動を円滑に実行できる体制を有しているか。	<u>4</u>	4
	5. 公共財としての観点からの施設有効活用提案を行っているか。	<u>3</u>	3

【工夫・改善点等】

- ・トレーニング初回講習会の開催時間を統一し、新規利用者への受講枠を拡大した。（毎日3回）
- ・新規教室として4月より編み物教室を開始した。
- ・イベントとして5月にゴールデンウィーク期間中のお楽しみ抽選会、春のウォーキング、7月はボルダリング体験会、10月は卓球大会、秋のウォーキング&芋ほり体験、11月はフットサル大会、12月はワンダフルタイム、3月は普通救命講習を開催した。
- ・市内イベントでのPR活動として8月にバーリ・トゥード夏フェス、10月に秋の農祭り、3月に市内ロードレースフェスティバル、バーリ・トゥード春フェスに参加し、出張販売とパンフレット配布を実施した。
- ・ニーズに合った教室やイベント、商品販売に向けてアンケートを実施した。
- ・館内情報紙としてアクシス新聞20号～25号を発行した。
- ・販売促進に向けオリンピック・パラリンピックのキャラクターグッズ販売や500円セール等を実施した。
- ・ラウンドフィットネスの宣伝として紹介映像をロビーにて放映開始した。
- ・広告宣伝として4月に情報紙ぱど、2月にスマイルよみうりにイベント情報等の広告掲載、12月に近隣地域（和光市・朝霞市）への新聞折込広告を実施した。

③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1. 協定書及び仕様書等に基づいて修繕箇所、修繕方法、修繕金額などが、適正に執行されているか。	4	4
	2. 設備、機器、備品の交換、リニューアルが利用者等の安全確保の観点から適正に行われているか。	4	4
	3. 法定点検等が有資格者により適切に行われているか。	3	3
	4. 節電、リサイクルなどの地球環境に優しい維持管理が行われているか。	4	4
	5. 日常点検、自主点検等が適正に実施されているか。	4	4

【工夫・改善点等】

- ・空調効率化対策として日除けシートや扇風機の活用、アスレチックルームとアリーナは窓開けを心掛けた。
- ・2階照明を全てLEDにした。
- ・修繕箇所をリストアップし、優先順位を定め修繕を実施した。
- ・逆走防止として、出入りロスロップに進入禁止ラインを引いた。
- ・チェック表を基にトレーニングマシンの動作確認等を月1回実施した。
- ・館内を定期的に巡回し、利用マナー向上のため注意喚起の呼びかけをした。
- ・バレーボール用の支柱（1組）、卓球台（1台）が劣化し怪我等の危険があったため、新しく交換した。
- ・水質検査を月1回実施し、館内に掲示した。利用者への信頼回復と安全確保を図った。
- ・設備状況についてのアンケートを実施した。
- ・法令順守強化として、毎月計画通り点検・清掃業務を進めているかメールで確認作業を行っている。

④緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	1. 利用者が安全、安心に利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	4	4
	2. コンプライアンス体制が整備されているか。	3	3
	3. 救急救命に必要なAED等の設置や有資格者を配置しているか。	4	4
	4. 社会環境の変化や技術革新に即応した危機管理体制の進化に努めているか。	3	3
	5. 有事を想定した実施訓練・職員召集等を定期的実施しているか。	3	3
【工夫・改善点等】 ・AED・消火器・非常放送・警報機の取り扱い確認や緊急連絡の対応確認の説明を実施した。 ・消火器・火災報知器などの配置図をスタッフや利用者が常に確認できるよう、トレーニングジム、2階通路、アリーナ、会議室、和室に掲示した。 ・有事に備え社員は心肺蘇生法・AEDの自社研修会に定期的に参加し、緊急時の対応について各スタッフへ研修を行った。 ・消防職員に協力いただき7月23日（月）、3月25日（月）の休館日に消防訓練として通報・避難・初期消火（水消火器使用）の各訓練を実施した。また、防火扉を起動してのデモンストラクションを行った。 ・受付に市内医療機関マップを用意し、利用者に案内できるよう活用した。 ・緊急時連絡先を事務所に誰でも確認できるよう掲示した。			
⑤快適な職場環境を実現し、職員の安全と健康が確保されているか。	1. 労働法規の遵守や適正な勤務体制・勤怠管理システム等標準的な就業環境を維持しているか。	3	3
	2. 職員が良質な公共サービスを提供できるように休暇制度や福利厚生制度の改善に取り組んでいるか。	3	4
	3. 職員の資質向上と能力向上に向けたキャリアアップ可能な教育、研修体制が整備されているか。	4	4
	4. 職員が納得できる働きがいのある公正な人事考課制度が確立しているか。	3	3
	5. 事務室等の衛生管理を行い、清潔で安全な職場環境の実現に向け取り組んでいるか。	4	4
【工夫・改善点等】 ・職員の意見を聞き入れられる雰囲気、働きやすい環境づくりを心掛けた。 ・各スタッフへ有資格者によるトレーニング研修や個人情報保護の研修を実施した。 ・アスレチックルームのトレーニングマシンは一週間に1回を目安に吹き清掃を行い、会議室や和室は定期的に掃除機で清掃するよう指導した。 ・業務効率向上としてトレーニングスタッフへ受付業務の研修を行った。			

結果 $\frac{91 \text{ (評点の合計)}}{100 \text{ 点 (最高点の合計)}} \times 100 = 91\% \text{ (評点の割合)}$

評点の基準

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点